河床変動計算システム ver1.1.1.104 2006.12.11

●アプリケーション形式

Windows版スタンドアローン

●システム実行環境

OS:Windows2000,WindowsXP
 メモリ:750MB以上推奨
 CPU:Pentium750ME以上推奨
 HDD:空き容量1.0GB以上
 画面:1024 x 768ピクセル以上推奨
 その他:1.プリンターをインストールした環境であること
 2. IDL Virtual Machine6.1をインストールした環境であること

●インストール方法

○はじめてインストールする場合
1. プリンターがインストールされているか確認してください。
2. 別途ダウンロードしたIDL.zipを解凍します。
3. 2で解凍されたIDLフォルダ内のidl61.exeを実行し、IDL Virtual Machine6.1をインストールしてください。
4. 2で解凍されたIDLフォルダ内のidl611.exeを実行して、IDL Virtual Machine6.11にバージョンアップします。
5. SetupフォルダのSetup.exeを実行してください。
6. インストール完了です。
(3以降の詳細については、インストール方法.pdfをご参照ください。)

○すでに前バージョンをインストールされている場合
1. SetupフォルダのSetup. exeを実行します。
2. 画面に従い、いったん前バージョンを削除します。
3. 再度Setup. exeを実行し、システムをインストールします。

4. インストール完了です。

●モデル説明資料フォルダ

デフォルトで登録済みの4モデル、JICEモデル、京大河川研レベル1モデル、清水モデル、混合砂モデルの各モデルの説明資料と 各モデルのスペック表があります。 モデル特性の把握や計算パラメータ設定の参考資料としてご利用ください。

●SampleDataフォルダ

tamaH12.csv(元横断データファイル) cutHQ3.dat (境界条件ファイル) tamagawa_nagata2005Dec.jpg (背景画像ファイル) NonUniformT.csv(初期の粒径分布データファイル)

●SampleProjectフォルダ

tamagawaH12.zipは、jiceモデルによる多摩川永田地区のH12出水における計算実行済みのサンプルプロジェクトです。 システムの起動直後の画面で「圧縮プロジェクトの解凍読み込み」をクリックして、 tamagawaH12.zipを選択してください。 その際、あらかじめ計算エンジンにJICEモデルを選択しておく必要があります。 方法は、以下のとおり。 「メニュー」→「ツールメニュー」→「計算エンジンオプション」を選択し、 「計算エンジン・オプション」ダイアログを立ち上げ、「選択」ボタンで『JICEモデル』を選択。

●バージョン履歴 ver1.0.0からの変更点 「元横断データ編集ページの横断データ編集画面において プロットの拡大、縮小の操作後にプロットの位置がずれる」 「元横断データ編集ページの横断データ編集画面において 編集内容が反映されないことがある」 など、その他、細かい不具合の修正。